

令和8年(2026年)8月27日

令和8年度後期公開講義のご案内

大学を広く皆様に開放し、学習していただける「公開講義」の受講生を、下記のとおり募集いたします。

- ①公開科目 公開科目一覧を参照ください。各講義シラバスは滋賀県立大学ホームページに登載しています。
対面方式科目(38科目) 半年間、大学に通学して学習いただきます。
(授業期間は、令和8年9月28日から令和9年2月1日までの予定です)
- ②受講資格 18歳以上。申し込みには条件がある科目もあります。(公開科目一覧を参照ください)
- ③募集定員 科目ごとに定員が決められています。(公開科目一覧を参照ください)
- ④申込方法 滋賀県立大学ホームページのNEWSより受講申込書をダウンロードしてください。
受講申込書に必要事項を記載し写真を添付の上、地域連携・研究支援課へ提出してください。
(メール・郵送・持参のいずれかの方法で期日までに提出をお願いします)
- ⑤申込期間 令和8年9月10日(木)17時 必着
- ⑥受講決定 申し込みいただいた方の中から、科目ごとに受講生を決定します。
- ⑦受講費用 受講料は1科目につき6,000円です。(教材費等がかかる場合は別途個人負担となります。)
納付された受講料は返金を行いません。
- ⑧注意事項 公開講義では単位を取得することはできません。諸事情により時間割が変更になる場合があります。

令和8年度後期 滋賀県立大学公開講義

令和8年度後期公開講義受講生を下記のとおり募集いたします。

- ①公開科目 裏面の公開科目一覧を参照してください。
各講義シラバスは大学ホームページに掲載しています。約半年間、大学に通って大学生と一緒に講義を受けていただきます。
(授業期間は、令和8年9月28日から 令和9年2月1日までの予定です)
- ②受講資格 18歳以上。申し込みに条件がある科目もあります。(裏面を参照ください)
- ③募集定員 科目ごとに定員が決まっています。(裏面を参照ください)
- ④申込方法 滋賀県立大学のホームページより、受講申込書をダウンロードしてください。
受講申込書に必要事項を記載し写真を添付の上、メール・郵送・持参のいずれかの方法で、期日までに地域連携・研究支援課へ提出してください。
- ⑤申込期間 令和8年9月10日(木) 17時 必着
- ⑥受講決定 申し込みいただいた方の中から科目ごとに受講生を決定します。
受講の決定につきましては、郵便または電話で9月24日(木)までに連絡します。
- ⑦受講費用 受講料は1科目につき6,000円です。支払方法につきましては受講決定後にお知らせします。なお、一旦納付された受講料については返金を行いません。
(教材費等がかかる場合は別途個人負担となります)
- ⑧注意事項 公開講義では単位を取得することはできません。やむを得ない諸事情により時間割が変更になる場合があります。そのような場合は、すみやかに連絡をいたします。

【申込・電話による問い合わせ等の受付時間】
9:00~12:00 13:00~17:00
(土・日・祝日を除く)

お申し込み
お問い合わせ

滋賀県立大学 地域連携・研究支援課

(〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500)



0749-28-8210



chiiki_koken@office.usp.ac.jp

令和 8 年度後期公開講義 公開科目一覧

☆試験・レポート欄 「○」:受験・提出可、「×」:受験・提出不可、該当なし

区分	番号	科目名	担当教員	曜日	講時	条件・その他	試験	レポート	定員
人間学他	1	電子社会と人間	柳澤 淳一	月	2	このテーマに興味を持っていいただければ、特に必要な前提条件はありません。	×	○	5
	2	生命・人間・倫理	糸島 陽子	月	2	特になし	×	×	5
	3	ジェンダー平等をつくる	河 かおる	月	2	主にTeamsを使用して課題を出したり資料を共有します。教員側からTeams使用方法についての個別フォローはできかねることをご了解願います。	×	○	若干
	4	地域づくり人材論	上田 洋平	月	2	授業内でグループに分かれてディスカッションやワークショップを行う場合があります。そうしたディスカッションやワークショップにも参加してもらいます。	○	○	10
	5	自然のしくみA	荒木 希和子	月	3	特になし	×	○	10
環境科学部	6	動物生態学	高倉 耕一	月	2	レポート提出（2～3回）、毎回のミニテストについてはTeamsで実施しています。本学情報管理室により受講者のTeams利用が許可された場合に限り、レポート、ミニテストの提出を可とします。	○	○	若干
	7	陸域生態系保全修復論	荒木 希和子	月	2	特になし	○	○	若干
	8	環境毒性学	丸尾 雅啓	火	1	高等学校「化学基礎」程度の知識がある、履修した経験があることが望ましい。	○	○	5
	9	植物資源開発学	原田 英美子	火	4	特になし	×	○	5
	10	環境リスク解析法	肥田 嘉文	水	2	特になし	○	○	若干
	11	構造力学Ⅱ	高田 豊文	水	4	静定構造物の応用算定ができること	○	○	5
	12	水資源利用学	皆川 明子	木	2	特になし	×	×	若干
	13	地域情報処理学	岩間 憲治	金	4	特に制限は無いが、三角関数など高校数学がある程度分かったと良い。	○	○	10
工学部	14	物性デバイス基礎論	一宮 正義	月	2	大学初年級の電磁気学を理解していることが望ましい	○	○	5
	15	生化学Ⅰ	竹原 宗範	火	1	高校の「化学」を理解していること	○	○	若干
	16	基礎電磁気学	小林 成貴	火	2	高校で習う物理（特に力学・電磁気学）を理解していること	×	×	3
	17	固体物性基礎	奥 健夫	火	4	特になし	○	○	5
	18	エネルギー変換工学	河崎 澄	水	1	高校物理程度の予備知識	○	○	若干
	19	半導体基礎	柳澤 淳一	水	1	初歩的な量子力学の基礎知識があることが望ましいですが、受講に必要な絶対条件ではありません。	×	○	5
	20	環境調和化学	谷本 智史	水	2	高校の化学を理解していること。	×	○	10
	21	電子と化学結合	松岡 純	水	2	高校物理と工学部1年次前期の化学と数学を履修したのと同程度の学力を前提に授業を行う。	×	○	若干
	22	流体力学Ⅰ	南川 久人	水	2	高等学校数学の微分・積分を理解している方が望ましい。	○	○	若干
	23	伝熱学	出島 一仁	水	2	特になし	○	○	3
	24	分子・統計力学	松岡 純	木	2	材料化学科1年次の数学と2年次の熱力学に関する科目を履修したのと同程度の学力を前提に授業を行う。	×	○	若干
	25	大学院科目・天然高分子材料	谷本 智史	木	2	大学2年程度の有機化学を理解していること。	×	○	5
	26	高分子物性	徳満 勝久	木	3	高校の物理・化学・数学と大学での熱力学がある程度理解できていること	×	○	若干
人間文化学部	27	空間デザイン論	佐々木 一泰	月	4	特になし	×	○	5
	28	移民社会論B	河 かおる	火	5	主にTeamsを使用して課題を出したり資料を共有します。教員側からTeams使用方法についての個別フォローはできかねることをご了解願います。	×	○	若干
	29	英米文学購読	山本 薫	水	2	予習は必ずして授業に臨んでください。留学経験のある学生、留学経験の有無にかかわらずもともと英語に自信がある学生が履修していることが多く、毎年授業のレベルは高いです。	○	×	若干
	30	民俗学	市川 秀之	水	3	特になし	×	×	特になし
	31	臨床心理学	松嶋 秀明	水	4	授業にあたっては受講生同士のディスカッションを多くとりいれております。学生にも無理強いはありませんので、義務的なものではありませんが、積極的にご参加いただければ幸いです。	×	○	若干
	32	中国地域文化論	横田 祥子	木	3	特になし	×	×	5
	33	アジア文化論B	河 かおる	木	4	主にTeamsを使用して課題を出したり資料を共有します。教員側からTeams使用方法についての個別フォローはできかねることをご了解願います。	×	○	若干
	34	東洋史概説	李 晔鎮	木	4	特になし	×	×	10
	35	地域と空間	市川 秀之	金	2	特になし	×	×	特になし
	36	欧米文化論D	瀬戸 貴裕	金	2	期末レポートは出さないでもよいです。	×	○	5
	37	中世近江論	高木 純一	金	3	特になし	×	×	5
	38	比較道具論	星野 祥子	金	4	授業外でのレポート作成が多い講義授業となっています。講義終了時の感想文の提出が授業毎にあります。また、2週か3週に一回のペースで、講義内容に関するレポート課題があり、大学のポータルサイトでレポートデータを提出していただく形式です。	×	○	3

【講時】 1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:10～14:40 4限 14:50～16:20 5限 16:30～18:00

【シラバスの見方】 県立大学ホームページ → 学部・大学院 → シラバス → U S P o
大学ホームページのシラバスを参考にしてください